

高知県から得られた四国初記録となるネズツポ科バケヌメリ

津野義大¹・岡村恭平¹・遠藤広光¹

Author & Article Info

¹ 高知大学理工学部海洋生物学研究室（高知市）
 YT: b213s028@s.kochi-u.ac.jp (corresponding author)
 KO: b22m6g30@s.kochi-u.ac.jp
 HE: endoh@kochi-u.ac.jp

Received 08 November 2023
 Revised 09 November 2023
 Accepted 10 November 2023
 Published 10 November 2023
 DOI 10.34583/ichthy.38.0_1

Yoshihiro Tsuno, Kyohei Okamura and Hiromitsu Endo. 2023. First record of *Eleutherochir mirabilis* (Perciformes: Callionymidae) from Kochi Prefecture, Shikoku, Japan. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 38: 1–3.

Abstract

A specimen of *Eleutherochir mirabilis* (Snyder, 1911) (Perciformes: Callionymidae) was collected from Uranouchi Inlet, Kochi Prefecture, Shikoku, Japan. In Japanese waters, *E. mirabilis* has previously been known from Hokkaido, Honshu (Aomori, Niigata, Ibaraki, and Kanagawa prefectures), and Kyushu (Miyazaki Prefecture). Hence, the present specimen represents the first record of the species from Shikoku.

ネズツポ科オオクチヌメリ属 (Callionymidae: *Eleutherochir*) は、国内ではバケヌメリ *Eleutherochir mirabilis* (Snyder, 1911)、クシヒゲヌメリ *Eleutherochir mccaddeni* Fowler, 1941、そしてオオクチヌメリ *Eleutherochir opercularis* (Valenciennes, 1837) の3種が知られ、尾鰭中央部の軟条先端が分枝する、口が幅広い、および下唇上縁に多くの肉質突起をもつ特徴がある (Nakabo, 1982; 中坊・土居内, 2013; 緒方・村瀬, 2019)。ネズツポ科魚類は国内外において分類体系の見解が異なり、バケヌメリは国外では *Draculo mirabilis* Snyder, 1911 [たとえば Fricke (1983)], 国内では *E. mirabilis* として扱われる [たとえば Nakabo (1983) や中坊・土居内 (2013)]。

バケヌメリはおもに北日本に分布する種で、これまで北海道、青森県、新潟県、茨城県、神奈川県、および宮崎県に限られる (Arai, 1971; 石川, 1978; Nakabo, 1983; 尼岡ほか, 1995, 2020; 中坊・土居内, 2013; 緒方・村瀬, 2019)。また、本種は背鰭が1基で軟条数が通常13、下顎先端が上顎先端よりわずかに突出する、そして臀鰭軟条数が通常13で本属

他種と異なる (Nakabo, 1983)。

高知大学理工学部海洋生物学研究室に収蔵されているオオクチヌメリ属の標本を精査した結果、2012年5月8日に高知県土佐市宇佐町の海岸 (浦ノ内湾の湾口) で採集された標本が、バケヌメリであることを確認した。したがって、同標本はバケヌメリの高知県かつ四国初記録となるため、ここに報告する。

材料と方法

標本の計数・計測方法は Hubbs and Lagler (1958) にしたがった。計数・計測項目は緒方・村瀬 (2019) にしたがって、背鰭前長と胸鰭基底長を追加した。本稿では Nakabo (1983) にしたがってバケヌメリに適用する学名を *Eleutherochir mirabilis* とした。計測はデジタルノギスを用いて 0.01 mm 単位まで行い、小数第2位を四捨五入した。標準体長は体長または SL と略記した。本報告に用いた標本は、高知大学理工学部海洋生物学研究室 (BSKU) に保管されている。

Eleutherochir mirabilis (Snyder, 1911)

バケヌメリ

(Fig. 1)

標本 BSKU 112815, 雌雄不明, 体長 32.8 mm, 高知県土佐市宇佐町 (浦ノ内湾の湾口部), 2012年5月8日。

記載 背鰭鰭条数 13; 胸鰭鰭条数 $i + 17$; 腹鰭鰭条数 I, 5; 臀鰭鰭条数 13。体各部に対する体長の割合 (体長に対する百分率): 全長 126.0; 体高 (腹鰭起部) 8.8; 頭長 30.9; 吻長 7.4; 眼窩径 5.8; 背鰭前長 43.8; 臀鰭前長 45.7; 背鰭基底長 43.4; 胸鰭基底長 8.1; 臀鰭基底長 47.1; 胸鰭長 26.8; 尾柄高 6.3; 背鰭第1鰭条長 8.1; 背鰭第2鰭条長 9.3; 背鰭第3鰭条長 9.8。

頭部は縦扁し、背鰭起部付近から後方では側扁する。体は細長く、腹鰭先端付近で体高が最大。吻端は丸い。眼窩は前後方向にやや楕円形で、吻長の0.8倍。鼻孔は眼窩前縁のやや前方に位置し、小さな管状。口は端位で、横に幅広い。下顎先端は上顎先端よりわずかに突出する。上



Fig. 1. (A) Lateral and (B) dorsal views of preserved specimen of *Eleutherochir mirabilis* (BSKU 112815, 32.8 mm SL) from Kochi Prefecture, Shikoku, Japan.

顎後端は眼窩前縁直下にわずかに達しない。下唇上縁には1列の櫛状の肉質小突起が並び、前方から後方に向かい次第に小さくなる。両顎歯は非常に小さく、1列の歯列を形成する。前鰓蓋骨棘には前向棘がなく、基部内側に上方に向かって湾曲する5棘がある。鰓孔は小さく背面に開く。鰓蓋膜は後方に向かって伸長し、胸鰭基底を越える。鰓蓋と峡部は薄膜でつながる。肛門には小突起がある。背鰭は1基で、軟条のみからなり、棘条はない。背鰭起部は臀鰭起部直上に、背鰭基底後端は尾柄部の前方に位置する。背鰭の最終軟条は基部から分枝し、他の軟条は不分枝。胸鰭基底は鰓蓋後端付近に位置する。胸鰭の最上軟条は不分枝で、他はすべて分枝する。胸鰭は長く、後端は臀鰭第2-3軟条直上に位置する。腹鰭起部は前鰓蓋骨棘直下に位置する。臀鰭基底後端は背鰭基底後端直下のやや後方に位置する。臀鰭軟条は先端が分枝する（最終軟条のみ基部から分枝）。尾鰭はやや長く截形で、両角が丸みを帯びる。尾鰭中央部の軟条は分枝する。側線は1本で、鰓蓋上部からはじまり、胸鰭基部よりやや後方で急に下降し、そこから体側中央を走る。

色彩 固定後の色彩 (Fig. 1) — 頭部と体側の体色は薄い淡褐色で、背面は茶褐色の虫食い模様で、腹面は乳白色。鰭を除く体全体に小黑点が散在し、腹面ではより密になる。各鰭は白色で半透明、背鰭と尾鰭には茶褐色の斑点が散在する。生鮮時の色彩は記録されていない。

分布 本種は国外では中国河北省（渤海）、韓国全羅北道（黄海）、ロシア沿海地方（ポシエト湾）から知られ、国内では北海道、青森県、新潟県、茨城県、神奈川県、高知県、および宮崎県から報告がある (Arai, 1971; 石川, 1978; Nakabo, 1983; Fricke 1983; 尼岡ほか, 1995, 2020; 工藤・山田, 2005; 中坊・土居内, 2013; 緒方・村瀬, 2019; 本研究)。

備考 本標本は口が幅広い、下顎先端が上顎先端よりわずかに突出する、下唇上縁に1列に並ぶ櫛状の肉質小突起がある、背鰭が1基、背鰭と臀鰭の軟条数が13、尾鰭中央部の軟条先端が分枝するなどの特徴が、Nakabo (1983)、中坊・土居内 (2013) や緒方・村瀬 (2019) が示したバケヌメリの特徴とよく一致したため、本種に同定された。本種の雄は生鮮時に背鰭縁辺に朱色縦線を、雌は腹鰭鰭条後方に黄色斑点が散在する特徴をそれぞれもつが (緒方・村瀬, 2019; 尼岡ほか, 2020)、本標本の生鮮写真は記録されていないため雌雄を識別できなかった。

バケヌメリは体長8 cmほどの小型種で、淡水の影響を受ける環境からも標本が得られているが、おもに水深0.3 m前後の波打ち際から水深10 m前後の外洋に面した浅海砂浜域に出現する (中坊, 1988; 尼岡ほか, 1995, 2020; 中坊・土居内, 2013; 緒方・村瀬, 2019)。本個体が採集された浦ノ内湾の湾口部は、流入河川が少なく外海に面した砂浜海岸が発達しており、バケヌメリの生息環境とよく一致する。オオクチヌメリ属の国内の分布については、南方系種のオオクチヌメリとクシヒゲヌメリが知られ、前者は四国において高知県香南市夜須川と徳島県阿南市那賀川から記録があるが、いずれも無効分散とみなされた (吉郷ほか, 2006; 片山ほか, 2011; 土居ほか, 2012)。記載標本は体長32.8 mmと小さく、バケヌメリは体長約8 cmまで成長することが知られており (尼岡ほか, 2020)、バケヌメリとほぼ同じ程度まで成長するオオクチヌメリでは体長4 cmほどの個体が未成魚と報告されているため (片山ほか, 2011; 土居ほか, 2012)、記載標本も未成魚の可能性が高い。

記載標本は2012年に浦ノ内湾の湾口部で採集されたが、それ以降の高知県沿岸の魚類調査では本種は採集されていない。しかし、前述の通り、四国沿岸には本種の生息に適

した環境は多く存在することから、魚類相調査の進展によって新たに標本や生息地が発見される可能性が高い。

謝 辞

本稿の執筆にあたり、中山直英博士、山口 蓮氏、松永 翼氏などの高知大学理工学部海洋生物学研究室の方々には、研究活動にご協力いただいた。Ichthy 担当編集委員の松沼瑞樹氏には原稿に対し適切な助言をいただいた。この場を借りて感謝申し上げる。

引用文献

- Arai, R. 1971. Record of the dragonet, *Draculo mirabilis* Snyder, from Hokkaido, Japan. *Japanese Journal of Ichthyology*, 18: 33–35. [URL](#)
- 尼岡邦夫・仲谷一宏・矢部 衛. 1995. 北日本魚類図鑑. 北日本海洋センター, 札幌. 390 pp.
- 尼岡邦夫・仲谷一宏・矢部 衛. 2020. 北海道の魚類 全種図鑑. 北海道新聞社, 札幌. 590 pp.
- 土居敏幸・佐藤陽一・尾嶋百合香・伊藤道啓・小藤美樹・三島隆伸. 2012. 徳島県的那賀川河口から採集されたオオクチヌメリ *Eleutherochir opercularis* (ネズツポ科 Callionymidae). 徳島県立博物館研究報告, 22: 151–156. [URL](#)
- Fricke, R. 1983. Revision of the Indo-Pacific genera and species of the dragonet family Callionymidae (Teleostei). *These Zoologicae*. Vol. 3. Verlag von J. Cramer, Braunschweig. x + 774 pp.
- Hubbs, C. L. and K. F. Lagler. 1958. *Fishes of the Great Lakes region*. University of Michigan Press, Ann Arbor. xv + 213 pp., 44 pls.
- 石川弘毅. 1978. 茨城県浅海域で採集されたバケヌメリ, *Draculo mirabilis* Snyder. 茨城県水産試験場研究報告, 22: 1–6. [URL](#)
- 片山英里・松本恭平・中村和喜・町田吉彦. 2011. オオクチヌメリの四国初記録 (スズキ目ネズツポ科). 四国自然史科学研究, 6: 6–9. [URL](#)
- 工藤孝治・山田和彦. 2005. 三浦半島南西部沿岸の魚類— VI. 神奈川自然誌資料, 26: 79–84. [URL](#)
- Nakabo, T. 1982. Revision of genera of the dragonets (Pisces: Callionymidae). *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, 27: 77–132. [URL](#)
- Nakabo, T. 1983. Revision of the dragonets (Pisces: Callionymidae) found in the waters of Japan. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, 27: 193–259. [URL](#)
- 中坊徹次. 1988. ネズツポ科, pp. 328–331. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編) 日本産魚類大図鑑. 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013. ネズツポ科, pp. 1341–1346, 2106–2109. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 緒方悠輝也・村瀬敦宣. 2019. 宮崎県延岡市から得られた標本に基づくネズツポ科魚類バケヌメリ *Eleutherochir mirabilis* の南限記録. 日本生物地理学会会報, 74: 65–69.
- 吉郷英範・太田 格・吉野哲夫. 2006. 日本初記録のネズツポ科魚類クシヒゲヌメリ (新称) *Eleutherochir mccaddeni*. 魚類学雑誌, 53: 189–193. [URL](#)